

現経営陣とともに 次の成長へ!!

株式会社ジェイホールディングスの未来のために、 株主の皆さまへ

このたび、ノアグループホールディングス株式会社（以下、ノアGHD）は、東京地方裁判所の2026年7月17日付株主総会招集許可決定に基づき、株式会社ジェイホールディングスの臨時株主総会を招集いたします。ノアGHDの代表取締役、大西雅之でございます。株主の皆様には、お騒がせしておりますことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

しかし、私も株主の一人として株式会社ジェイホールディングスの現在の経営について思うところがございます。今回の請求をさせていただきました。

株主の皆様にご覧いただけます。現経営陣とノアGHDが協業・共同事業を推進できる体制を実現するため、私を含む取締役候補者3名の選任にご賛同いただきますようお願いいたします。

株主の皆様から「大西を信じてよかった」と言っていただけるような、上場企業としてさらなる成長を遂げるジェイホールディングスへと、発展させていきたいと考えています。その実現に向け、当社は、事業再生、スポーツ推進事業、その他のM&Aによる事業展開の分野で培った経験と実績を活かし、ジェイホールディングスにとって良きパートナーとなる自信があります。株主の皆様にお騒がせしていることは十分承知しておりますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

培ってきた経営実績と実行力を、
ジェイホールディングスの未来へ。

ノアグループホールディングス株式会社
代表取締役 大西 雅之

ノアグループホールディングス株式会社
NOAH GHD



ジェイホールディングスの成長に向けた ノアグループホールディングスからの4つの提案

現経営陣が築いてきた事業基盤に、ノアグループホールディングスの経験と実行力を加え、双方の強みを活かした企業価値向上を目指します。



現経営陣と力を合わせ、未来をつくる

私たちが何より大切にするのは、ジェイホールディングスの現経営陣がこれまで築いてこられた事業基盤・歴史・ネットワークを最大限尊重することです。現役員の退任を求めることなく、互いに力を合わせて企業価値の向上を実現する協調型の経営参画を通じ、ジェイホールディングスの持続的な成長とステークホルダー価値の最大化を目指します。敵対的な経営介入を行う意図は一切ございません。



ノアグループの実行力を、経営に活かす

経営への参画にあたっては、現経営陣の退任を求めることなく、取締役候補者3名の追加選任を通じて、新たな実行力を加えたいと考えています。スポーツ事業・施設開発・デジタル戦略などの新規事業領域の統括をはじめ、経営会議への参加、KPI管理、事業計画の策定に共同で参画し、ノアグループが培ってきた経験と実行力をジェイホールディングスの経営に活かしてまいります。



長期的な株主として、成長を支える

資本面においては、短期的な利益の獲得を目的とするのではなく、友好的かつ安定的な株主として、ジェイホールディングスの中長期的な成長と企業価値向上を継続的に支えてまいります。現在保有する株式を維持することを基本とし、必要に応じた追加取得や、共同事業の進捗と今後の成長戦略を踏まえた持株比率の調整も検討してまいります。一時的な資本参加にとどまらず、事業と資本の両面から責任ある関係を築きます。



共同事業で、新たな企業価値を生み出す

事業面においては、ジェイホールディングスの既存事業を尊重しながら、スポーツ施設の開発から運営までを一貫して行う体制の構築、AI・IoT・データ解析を活用したスポーツテックの導入、地域創生型スポーツイベントの共同企画、財務改善および資本政策の共同検討、新規事業の立ち上げと収益モデルの再構築に取り組みます。「現経営陣の事業基盤」と「ノアグループの実行力」を掛け合わせ、新たな企業価値の創出を目指します。

現経営陣の事業基盤 × ノアグループホールディングスの実行力

対立ではなく、互いの強みを補い合うことで、ジェイホールディングスの持続的な成長を目指します。
取締役候補者3名の選任に、皆さまのご賛同をお願いいたします。